



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「カナダ修養会」①

六月の十四日から二十五日までの十一日間、カナダ、カルガリー教会の堀内友幸牧師の要請で日系人教会の修養会に出席させていただいた。先生は私がサンフランシスコ教会に赴任した当初からの友人で、すでに三十年来の信仰の知己である。この働きのために皆さんにお祈りいただいた事を心から感謝をしたい。

さて、私がカルガリーに着いた日から帰るまではほとんど毎日が雨であった。だがカラッとした気候なので、じめじめした感じはない。その夜は先生宅に宿泊し、翌日、先生の車を運転して3時間北にあるエドモントンに向かった。そこでの週末の集会と礼拝のご用のためである。カナダでの運転は以前にも経験はあるが、何せ三十五年前の学生時代のことだ。その時にはバスでこのエドモントンにも来てはいる。だが地図だけでは心もとない。先生からGPSを借りて走ることにした。それにしても三六〇度見渡しても地平線というのは圧巻である。それに何と無数の湖沼群が散在し緑美しい田園風景を彩っていることか。そのような物珍しさも手伝ってか、アツと言う間に目的地に着いてしまった。

その日から二日間、相田さん宅に泊まる。しめて9回の集会の始まりである。相田さんご夫妻は、カルガリーを母教会とし今はオレンジ郡教会員の鶴飼和兄姉の親友だったという。今回カナダに来るに当たって、鶴飼兄と一緒に行けないかと何度か打診してはみたのだが、近い将来に家族で行きたいから、今回は遠慮しますということであった。三十人ほど集まった家庭集会は賛美と熱気に溢れていて、文字通り家族的雰囲気であり、時間を忘れて聖書に親しむことができた。翌日の父の日礼拝にしても背後でオレンジの皆さんの祈りを感じるような霊の豊かな導きがあり、それからは何度か献身の招きをさせていただいた。

カルガリーに帰った翌日の火曜日には、教会員の方々が私をバンフ国立公園に連れて行ってくれた。実は修養会が始めるまで、その日だけバンフは晴れていた。カルガリーは土砂降りの雨だったというのに！ 助手席に座って眺める山並みは実に感動そのものであった。かつて氷河によって削られた広大なU字谷の中を通るカナダ横断道路1号線からの眺めは、その壮大なスケールと言い、立ち並ぶ見上げるような高さの山並みと言い、谷あいには散在するターコイス・ブルーの湖と言い、世界広しと言えども他の追従を許さないであろう。「神は見えて、よしとされた」(一・一〇)と創世記にあるが、神はこの辺りのことを言ったのではないかと思ったりもした。それだけに感嘆の声しきりであった(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

